

平成22年度実施計画に準じる主要事業

－ 採 択 主 要 事 業 （ 新 規 ） －

実施計画は、総合計画（基本計画）に掲げる施策の実現に向け、財政的な裏付けを図りながら、事業の実施に係る年次計画（3ヵ年毎のローリング計画）を策定するものです。しかし、現行の総合計画（鶴ヶ島市21世紀まちづくり計画）が本年度を持ってその計画期間を終了することから、現在、平成23年度を計画の初年度とする「第5次鶴ヶ島市総合計画（基本構想並びに前期基本計画）」の策定を進めているところです。

このため、現時点では平成22年度実施計画を策定することが出来ません。しかし、先に実施した「全事業調査」を基に、協働のまちづくり、地域福祉、子育て、都市基盤の充実、そして教育分野などの各施策を積極的に進めていくため、平成23年度に着手すべき新規主要事業の採択を行いました。そして「第5次鶴ヶ島市総合計画」をより実効性の高い計画とするため、平成23年度当初予算の編成を進めるなかで、既存事業の執行の更なる工夫とマンパワーの効果的な投入など、総合計画の策定と併せ全庁的に取り組むこととします。

採択主要事業

健康福祉部門

○（仮称）介護基盤緊急整備等特別対策事業費補助金

《事業内容》

認知症高齢者グループホームなど今後不足の見込まれる地域密着型サービスの拠点整備を進めるため、グループホームを整備する事業者に補助金を交付する。

《次期総合計画で想定される位置付け》

介護保険サービスの充実

○ ファミリーサポートセンター運営事業

《事業内容》

地域で子どもの預かりなどの支援を行いたい者と支援を受けたい者による会員組織を設立し、子どもの預かり等の事業を行う。事業実施に当たっては、現在活動している市内の保育サポート団体に事業の運営を委託する。

《次期総合計画で想定される位置付け》

すべての子育て家庭への支援

○ 感染症予防対策支援事業

《事業内容》

子宮頸がんワクチンの接種（ヒトパピローウイルス）に対し補助を行う。

対象者 12歳～14歳（中学1年生～3年生）

《次期総合計画で想定される位置付け》

健康づくりへの支援

都市整備部門

○ 地区計画住環境整備事業

《事業内容》

旧暫定逆線引き地区（上広谷地区）の市街化編入に併せて定めた「地区計画区域」の整備を行い地区環境の充実を図る。

《次期総合計画で想定される位置付け》

市街地整備の推進

○ 一本松地区整備事業

《事業内容》

一本松土地区画整理事業の除外により定めた「地区計画区域」の整備を行い地区環境の充実を図る。

《次期総合計画で想定される位置付け》

市街地整備の推進

○ 道路台帳管理システム事業

《事業内容》

道路台帳平面図、道路台帳調書、道路占用物件の埋設図等のデータ整備を行い、道路台帳管理システムを構築、地図情報を活用したサービスの向上と事務の効率化を図る。

《次期総合計画で想定される位置付け》

道路環境の整備充実

○ 建築情報管理事業

《事業内容》

道路建設課において運用されている地籍成果の維持管理システムの機能に道路台帳の管理システムを付加することで、指定道路図の管理及び調書の作成等が可能となる。これによって道路情報を一元化し、管理・運用する。

《次期総合計画で想定される位置付け》

計画的な土地利用

○ 耐震診断促進事業

《事業内容》

地震に対する木造住宅の倒壊等を防ぎ、安全な建築物の整備を促進するため、木造住宅耐震診断補助制度を創設する。（平成27年度まで期間限定）

《次期総合計画で想定される位置付け》

住環境の整備促進

教育部門

○ 小学校体育館耐震補強事業（設計）

《事業内容》

耐震診断の結果により、小学校体育館の耐震補強工事（設計）業務を行う。

耐震診断の実施校 ①鶴ヶ島第二 ②新町 ③杉下 ④栄 ⑤長久保

《次期総合計画で想定される位置付け》

教育環境の整備と地域連携の充実